

令和4年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立道塚小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ 題材の導入における課題設定の場面を設定することで、児童が主体的に学習や作業に取り組む姿を多く見ることができるようになった。また、課題を意識させて振り返りをするにより、児童が自ら生活で活用できる場面を考え、新しい疑問をもち、意欲を継続させて学習に取り組むことができた。
- ・ 学習用タブレットで動画を繰り返し視聴できる環境をつくることで、知識・技能の定着が見られた。また、スライド作成やコメント機能を活用したことで、自分の考えをまとめたり、考えを基に友達と相互評価をしたりするなど、主体的・対話的な学びとなる場面を多く設定することができた。

(2) 課題

- ・ 児童が学習した内容を生活につなげ、家庭生活に生かそうとする態度を育成する。そのために、題材のまとめや家庭での実践課題の内容を改善したり、家庭実践を継続することができているかを共有する場を設定したりして、実践する様子の価値付けをできるようにする。
- ・ ICT機器を活用することのメリットとデメリットを考え、ICT機器を活用する場面の見直しをすること。
- ・ 知識・技能の確実な定着を図ること。そのために、題材における評価場面を見直し、ワークシートの内容を工夫するなどして、題材途中においても児童の学習状況の評価を行えるようにする。評価を生かして、題材を通して繰り返し指導したり、知識・技能の活用場面を設定したりして定着を図る。

2 授業改善のポイント（観点別）

○高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 題材の展開とその題材で身に付ける知識・技能を整理し、題材を通して既習した知識・技能を活用して考えたり活動したりできるように展開を工夫する。また、題材ごとのつながりを考え、他の題材での知識・技能を活用できるよう内容を設定する。 ・ 主にクロームブックを活用し、児童が学習したことを繰り返し確認でき 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 題材導入にあたり、内容に関する事前調査を行う。提示する資料や教材を精選し、児童が自分の生活を振り返り、学習課題がもてるようにする。 ・ 指導と評価の計画を見直し、題材の展開や終末の見通しを明確にして、指導を行う。特に、実践場面や実践を評価・改善する場面の設定を吟味する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の振り返りでは、題材ごとに振り返るためのワークシートを使用する。また、自分の学習課題と学習した内容を照らし合わせて行い、学習課題に対する解決方法や新たな気付きをもてるよう指導する。

るように動画や資料の用意をする。		
------------------	--	--